

(地 559)

令和 3 年 3 月 12 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

神 村 裕 子

(公 印 省 略)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告・令和2年度その2）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会「健康食品安全情報システム」事業については、平成24年11月19日付日医発第794号（地I161）の文書をもって、貴会にご案内申し上げます。

今般、本事業につきまして、会内「健康食品安全対策委員会」（以下、「本委員会」という）において4件の情報提供に関する判定が行われましたので、ご報告いたします。

この度の判定事例には、プエラリア・ミリフィカを含む、いわゆる「健康食品」による事例が含まれます。プエラリア・ミリフィカを含む食品については、国に対し、エストロゲン様作用が原因と考えられる健康被害情報が多数報告され、厚生労働省等から注意喚起がなされるとともに、本食品を製造・販売する事業者への監視指導が行われております。また、プエラリア・ミリフィカは、食品衛生法に基づき、「食品衛生上の危害の発生を防止する見地から特別の注意を必要とする成分等（指定成分等）」に指定されております。別添のとおり、本事業においても過去に2件（今回除く）の事例の情報提供がありました。

本委員会では今回の事例に対し、プエラリア・ミリフィカを含むいわゆる「健康食品」について、引き続き強い注意喚起が必要である趣旨から「レベル4：注意喚起」との判定となりました。貴会会員のうち、類似の事案のご経験をお持ちの先生がおられましたら、本会までご一報頂けると幸いです。

なお、プエラリア・ミリフィカに係る注意喚起については、これまでに下記の文書をもって貴会宛てにお送りしていることを申し添えます。

今回判定されたその他の事例を含む詳細につきましては、「健康食品安全情報システム」事業 都道府県医師会向けサイトの専用サイトに掲載する予定です。また、本会ホームページのメンバーズルームにも情報を掲載いたしますので、ご了知の程よろしくお願い申し上げます。

貴会におかれましては、今後とも、本事業へのご協力につき、よろしくお願い申し上げますとともに、貴会会員より、同様の事例の発生等の報告がありましたら、本会地域医療課宛（TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140 健康食品安全情報システム担当）にご連絡いただければ幸甚に存じます。

#### 記

- 「プエラリア・ミリフィカを含む健康食品について」（平成 29 年 7 月 21 日付（地 I 101））
- 「プエラリア・ミリフィカを原材料に含む「健康食品」の取扱いについて」（平成 29 年 10 月 3 日付（地 I 178））
- 「プエラリア・ミリフィカを原材料に含む「健康食品」を製造・販売する食品等事業者の監視指導について」（平成 30 年 2 月 16 日付（地 I 306））
- 「食品衛生法等の一部を改正する法律による改正後の食品衛生法第 8 条の施行に伴う関係法令等の整備について」（令和 2 年 4 月 13 日付日医発第 69 号（健 II 30））

以上

「健康食品安全情報システム」事業 都道府県医師会向けサイト

<http://www.med.or.jp/pshoku/index.html>

ID \*\*\*\* パスワード \*\*\*\*\* (紙の郵送文書に表示)

※ 恐れ入りますが、IDやパスワードを第三者に知らせることがないよう、お願いいたします。  
また、メンバーズルームには、会員向け情報を掲載しています。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業（「食品安全に関する情報システム」モデル事業を含む）における、プエラリア・ミリフィカを含有するいわゆる健康食品の事例（3件）（令和3年3月8日現在）

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデン	重篤度	治療の経過・転帰	判定実施日	判定結果
埼玉県	2020003	2020/10/15	2.女性	70代前半	プエラリア・ミリフィカ、ビール酵母、アルファリポ酸、フラクトオリゴ糖、コーンスター	不正性器出血、子宮体癌	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	5.(その他)	2021/1/29	レベル4 (注意喚起)
埼玉県	20180003	2018/12/12	2.女性	70代前半	プエラリア・ミリフィカ他	不正性器出血	5.(医学的に強く推定)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/3/22	レベル4 (注意喚起)
青森県	20070013	2007/03/15	2.女性	58	プエラリア・ミリフィカ	膣部びらん	4.医学的に推定	2.局所的 症状	2.軽快	2007/03/28	レベル4 (注意喚起)

	20200005	2021/1/25		71							2021/3/8
	20200004	2020/12/16		46							2021/1/29
	20200003	2020/10/15									2021/1/29
	20200002	2020/9/12		60							2021/1/29
	20200001	2020/5/22									2020/5/27
	20190005	2019/11/25									2019/11/28
	20190004	2019/11/21									2019/11/28
	20190003	2019/5/8									2019/6/13
	20190002	2019/3/18									2019/3/22
	20190001	2019/2/13									2019/3/22
	20180003	2018/12/12									2019/3/22
	20180002	2018/8/17									2018/12/21
	20180001	2018/4/28					-	-	-	-	-
	20170005	2018/3/31									2018/5/31
	20170004	2018/1/18					-	-	-	-	-
	20170003	2017/12/28									2018/3/8
	20170002	2017/10/23		80							2018/3/8







## 日本医師会「食品安全に関する情報システム」モデル事業 事例一覧(平成18年度～21年度)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。  
 2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。  
 3)ご提供いただいた情報の中には医薬品に該当するものもありますが、検討の上、本モデル事業の対象とした事案があります。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
沖縄県	20090009	2010/03/03	2.女性	64	豚プラセンタ(胎盤)、αリポ酸、コエンザイムQ10、アスコルビン	肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/03/04	通常審議情報	2010/03/23	レベル2(要観察)
石川県	20090008	2010/01/05	2.女性	78	グルコサミン1200mg,サメ軟骨200mg,ケルセチン45mg	血中LDLコレステロール異常上昇	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/01/05	緊急審議情報	2010/03/01	レベル2(要観察)
青森県	20090007	2009/11/26	2.女性	69	ヒュウガトウキ(日本山人参、Angelica furcijuga) ウコン	心窩部不快感と嘔気	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2009/11/26	緊急審議情報	2009/12/02	レベル4(注意喚起)
石川県	20090006	2009/10/06	2.女性	76	グルコサミン、麦芽糖、セルロース、ヒアルロン酸	9/9から1日3錠服用開始した。9/12に腹部、背部、腕、下肢に皮疹出現。9/14に服用中止したところ、9/18に皮疹が消失した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2009/10/06	通常審議情報	2009/10/15	レベル3(要監視)
青森県	20090005	2009/07/06	2.女性	80	コンドロイチン ざくろ Fish Oil カルシウム	性器出血、子宮内膜肥厚	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2009/07/08	通常審議情報	2009/08/05	レベル4(注意喚起)
青森県	20090004	2009/06/17	2.女性	66	濃縮熟成ニンニク抽出液、ニンジンエキス、ゴオウチンキ、ロクジョウ流エキス、トシシエキス、イカリソウエキス	回転性のめまい、体のほてり、体重減少と共に血圧の変動を認めるようになった。	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2009/06/17	通常審議情報	2009/06/18	レベル4(注意喚起)
佐賀県	20090003	2009/3/9	2.女性	61	カニ甲殻、サメ軟骨、マメ科の植物(グルコサミン、コンドロイチン、ケルセチンプラス)	腕、両下肢、体全体の筋肉の衰えを自覚、ソワソワした不快感、体重減少(3kg.)、足の震え	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2009/03/09	通常審議情報	2009/03/25	レベル3(要監視)
兵庫県	20090002	2009/01/27	1.男性	26	鉄分	健診目的で受診。肝機能障害(GOT50,GPT62,γ-GTP80) (2008.3.17 GOT24,GPT16,γ-GTP34)	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/28	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
福島県	20090001	2009/01/07	2.女性	70	プロポリス、エタノール	市民健診で肝機能異常発見。 A. 肝機能異常発見以前(05～07年:生化学検査)GOT、GPT、γ-GTP、総コレ、TG、HDL、クレアチニン、血糖・Hb1c 各異常なし B. 肝機能異常発見日(08/10/10)末梢血・生化学検査末梢血:異常なし γ-GTP19IU/ℓ(0～35)、GOT41IU/ℓ(10～40)、GPT45IU/ℓ(5～45)、HDL、TG、LDL、クレアチニン各異常なし、血糖・Hb1c異常なし。 C. その後の検査結果(一部略) 08/10/29: GOT45、GPT55、γ-GTP90 08/12/05: GOT24、GPT23、γ-GTP90	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/8	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
千葉県	20080011	2008/11/20	2.女性	62	西洋カボチャ種子、クランベリー	夜間の頻尿があり、人に勧められ「パンプキン」服用したところ、めまい発作を繰り返すようになり、同時に眠気を来している。中止すると軽快し、服用すると症状が出てくる。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/11/20	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
石川県	20080010	2008/11/04	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩	血中LDLコレステロール上昇	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2008/11/10	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
熊本県	20080009	2008/10/16	2.女性	89	グリコーゲン、含硫アミノ酸、ビタミン・ミネラル類 イチヨウ葉エキス コエンザイムQ10 黒酢、ニンニク	急性肝機能障害(全身倦怠感、胸痛)。 服用していた薬と食品を中止させ、点滴などの肝庇護療法を行って軽快した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2008/10/24	通常審議情報	2008/11/20	レベル4(注意喚起)



都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
福岡県	20080008	2008/10/01	1.男性	43	マオウ、カンゾウ、レンギョウ、ダイオウ	<当該製品は医薬品> 平成12年2月22日、GOT26,GPT26,γ-GTP61 8月30日、キッチンハイターの薄め液をコップ一杯誤って一気に飲んだ。その後気分不良なし。PM4:30、会社健診で採血、GOT92,GPT223,γ-GTP688を指摘される。 9月初め、肝機能異常値の連絡があったので、以後禁酒し(従来酒2~3合/日)、ダイエット漢方薬も中止した。 9月25日、再検査時に来院。GOT33,GPT60,γ-GTP209	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2008/10/01	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
青森県	20080007	2008/09/24	2.女性	75	鮭白子抽出物、鮭脳下垂体抽出物	最近家族より物忘れが強くなったと言われ、服用する。服用により全身に発疹、中止すると改善する。再び服用してから再び発疹を認める。	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2008/09/24	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
福岡県	20080006	2008/09/22	1.男性	81	ウコン	H9.6 γ-GTP(289) H18.7 GOT(138), GPT(184), γ-GTP(428)につき、●●病院でHCV II 抗体陽性につき H19.2北九州の病院でインターフェロンなどの治療を受けたが、以後消息不明	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2008/09/22	通常審議情報	2008/10/01	レベル1(保存)
沖縄県	20080005	2008/08/20	2.女性	63	乳酸菌生成エキス(死菌)	全身の紫斑(特に下肢)、凝固異常	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2008/08/20	通常審議情報	2008/10/01	レベル3(要監視)
沖縄県	20080004	2008/04/15	2.女性	48	黒酢	肝機能障害 GOT39 GPT61 ALP395 γ-GTP69に各々上昇 服用中に黒酢のみ中止させたら全て正常化した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/04/17	通常審議情報	2008/07/30	レベル3(要監視)
兵庫県	20080003	2008/03/04	2.女性	48	ダイオウ末、カノコソウ末、ケイヒ末、センキュウ末、ソウジュツ末、シャクヤク末、ブクリョウ末、トウキ末、コウブシユ末、ゴシュユ、ハンゲ、ニンジン、コウカ	<当該製品は医薬品> たまたま行った検査で肝障害を発見。 2007年6月14日、肝機能高値発覚、直ちに「命の母」の服用を止めさせ、プロヘパール2錠/日、ウルソを投与した。以前からの薬はそのまま継続、2ヵ月後にほぼ正常値に回復した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2008/03/04	通常審議情報	2008/03/19	レベル4(注意喚起)
岡山県	20080002	2008/02/25	2.女性	29	コーンシルクエキス末、ラフィノース、還元パラチノース、小麦抽出物、大豆タンパク、褐藻エキス末、シルクペプチド、ボスウェリアセラタ抽出物、ユッカエキス末、マカ末、グルコマンナン、カカオエキス末、L-カルニチンL-酒石酸塩、マテ茶エキス末、カロペプチド、ブドウ種子エキス末、松樹皮エキス末、黒胡椒抽出物、トウガラシ末、L-グリシン、L-アルギニン、サイクロデキストリン、クエン酸、カフェイン(抽出物)	軀幹の圧迫部(ブラジャー、下着)、関擦部(腋窩、鼠蹊)に丘疹多発、融合傾向、kobner現象あり。腰では座瘡様の丘疹を生じている。痒痒を伴う。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2008/02/26	通常審議情報	2008/03/19	レベル3(要監視)
福岡県	20080001	2008/01/10	1.男性	72	生薬(センキュウ、モッコウ、シャクヤク、コウブシ、コウカ(紅花)、丹参(タンジン))	じんま疹	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/01/10	通常審議情報	2008/01/30	レベル2(要観察)
岡山県	20070029	2007/12/26	2.女性	23	αリポ酸、コエンザイムQ10の合剤	低血糖症状、インスリン自己免疫症候群(αリポ酸による)。空腹時に手の震えなどの低血糖様症状が出現。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/12/26	通常審議情報	2008/01/30	レベル5(警告・禁止)
千葉県	20070028	2007/12/03	2.女性	56	エリスリトール、ローヤルゼリー、マカエキス、スクラロース、クエン酸	マカ・ゴールド・ロイヤルゼリーを服用して咽気・動悸の発症、近医で急性胃炎と診断		3.全身的症状	2.軽快	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
千葉県	20070027	2007/12/03	2.女性	68	還元麦芽糖水飴 ビタミン ビタミン	市民健診時の肝障害、突然発症AST293、ALT383、γ-GTP152		2.局所的症状	6.未記入	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
岡山県	20070026	2007/11/05	2.女性	41	酵母エキス、コエンザイムQ10、ハス胚芽抽出物、乾燥ビール酵母	毛穴がつまり(脂肪?)同部に発疹を併発	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル3(要監視)
青森県	20070025	2007/11/01	3.不明	73	鮫軟骨 スピルリナ フラボノイド、イチヨウ葉エキス、松葉エキス、ホスファチジルセリン	特に症状なし。一般健診時肝機能異常を指摘、若干の易疲労感はある	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)
石川県	20070024	2007/09/15	2.女性	58	グルコサミン、コンドロイチン、MSM(メチルサルフォニルメチル)、ヒアルコラーゲン、ヒアルロン酸、ビタミンC スクアレン アルコキシグリセロール、オメガ3脂肪酸、 ビタミンA、ビタミンE、ビタミンD	脂質コントロール悪化	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/09/19	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
兵庫県	20070023	2007/08/21	3.不明	71	グルコサミン(カニ由来)、デビルズクローエキス、セルロース、シヨ糖脂肪酸エステル EPA含有精製魚油、ゼラチン、グリセリン、酸化防止剤(ビタミンE) ササエキスパウダー(ササエキス、デキストリン)、セルロース、シヨ糖脂肪酸エステル 大豆油、コエンザイムQ10、ビタミンE含有植物油、茶抽出物、ゼラチン、グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル ギムネマ、プルラン 米胚芽油、紅コウジ末、サンフラワーオイル、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、レシチン ビルベリーエキス、ルテイン、カシス、ヒアルロン酸、コラーゲン、DHA、DNA、コエンザイムQ-10、イチョウ葉エキス、ラクトフェリン、β-カロテン、ビタミンC、ビタミンB2、β-カロテン、ビタミンB2、ビタミンB12、ビタミンE、コメ胚芽油、亜麻仁油、ブドウ種子油、大豆レシスビルリナ、ブルーベリー、イースト マグネシウム、鉄 ビタミンB アルファルファ草 レシチン(大豆)、ゼラチン、グリセリン フラボノ(クリシン) 小麦胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン 貝カルシウム(ほたて)、ブドウ糖、粉末レモン果汁、酵母、酸味料、シヨ糖脂肪酸エステル、ビタミンk2、カゼイン、香料、ビタミンD サンフラワーオイル、カロチノイド[マリーゴールド抽出物、トマト抽出物、藻類抽出物(デュナリエラ)、パーム油抽出物、ニンジン抽出物]、プロッコリー芽エキス、グレープシードエキス、ゼラチン、ミツロウ、グリセリン スクワレン、セラミド含有小麦胚芽油、スターフルーツ葉抽出物、リンゴ抽出物、ハトムギ胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、着色料(酸化チタン) フカヒレ軟骨抽出物、ボスウェリア抽出物、還元麦芽糖、大豆ペプチド、デキストリン、シヨ糖脂肪酸エステル、とうもろこしたんぱく	体幹、四肢にそう痒の強い紅斑と色素沈着、紅色丘疹も見られ乾燥傾向も強く、治療に抵抗。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2007/08/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル3(要監視)
千葉県	20070022	2007/08/17	2.女性	60	ブルーベリー 黒酢 グルコサミン	定期採血時における突然の肝機能障害発症(AST189、ALT152、LDH317)	3.医学的に疑い	3.全身的症状	6.未記入	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20070021	2007/08/13	1.男性	64	ウコン	3月(H19)より他人よりウコン譲渡され、肝底護目的で服用開始。飲酒も続けていたが、6月上旬尿黄染増強し、6/22当院受診。受診時黄疸認め、著明な肝機能異常を認めた。「薬剤性肝障害(疑)」	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
千葉県	20070020	2007/08/02	1.男性	48	グルコサミン、アセンヤク、オウゴン茎乾燥水製エキス、セルロース、ビタミンE、高級脂肪酸、二酸化ケイ素、クエルセチン、ルチン、ゼラチン	発熱、ぼーとする	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル2(要観察)
千葉県	20070019	2007/08/02	1.男性	73	ハブ茶、ハトムギ、玄米、どくだみ、大豆、ウーロン茶、柿の葉、クマザサ	糖尿病などにて治療中、平成19年3月3日当院に転送している。家人のすすめにて「毒だみ茶」を服用しているが、服用後必ず下痢症状を覚醒する。	2.不明	1.その他	2.軽快	2007/08/22	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
岡山県	20070018	2007/07/26	2.女性	55	クロレアエキス、クマザサエキス、田七人参抽出液、着色料、プロビレングリコール、保存料、pH調整剤	下痢(該当食品を摂取するたびに30分くらいして発症する)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/07/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
兵庫県	20070017	2007/06/14	2.女性	78	トルマリン(ケイ酸塩鉱物のグループ名)	血清鉄増加	3.医学的に疑い	4.重大な症状	1.回復	2007/06/14	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
石川県	20070016	2007/06/01	2.女性	65	玄米・胚芽・表皮、大豆、スピルリナ、茸抽出濃縮液(霊芝、舞茸、椎茸、冬中夏草)、牡蠣殻カルシウム	目の周囲、頸部に皮疹(かゆみなし)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/06/01	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
石川県	20070015	2007/05/18	2.女性	80	玄米表皮、胚芽、大豆、玄米、スピルリナ、牡蠣殻カルシウム、麹菌	蕁麻疹	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/05/22	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070014	2007/04/24	2.女性	66	ピロリン酸第二鉄 サメヒレ軟骨エキス アガリクス	肝障害	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2007/04/24	通常審議情報	2007/06/13	レベル4(注意喚起)
青森県	20070013	2007/03/15	2.女性	58	プエラリア・ミリフィカ	臍部びらん	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2007/03/15	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
青森県	20070012	2007/03/06	3.不明	34	ザクロ マカ	なし(服用後の不快感のみ、動悸)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/03/06	通常審議情報	2007/03/28	レベル1(保存)
沖縄県	20070011	2007/02/28	1.男性	62	ノニ(ヤエヤマアオキより抽出)	急性肝炎(めまい、食思不振、意識混濁)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
長崎県	20070010	2007/02/27	2.女性	55	寒天、黒酢、アルファリポ酸	じんましん様発疹、皮膚かゆい痒	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
岡山県	20070009	2007/02/09	2.女性	69	プロポリス ビタミンC 大麦若葉粉末、桑の葉粉末、赤松葉粉末、トウモロコシ ローヤルゼリー アミノ酸 ヒアルロン酸 α-リポ酸 DHA(ドコサヘキサエン酸) マツ 田七人参、鯉内臓濃縮末、鮑貝殻エキス末、エビス草種子エキス末、菊花エキス末、クコの実エキス末、マリーゴールド色素、ハルコガネ花果実エキス末、ヤマイモ末、ショウガエキス	肝機能障害	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/02/13	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
岡山県	20070008	2007/02/02	2.女性	72	RNA、DNA、SAMENTO(キャッツクロウ)、コエンザイムQ10、ビタミン	ジンマシン出現	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070007	2007/02/02	3.不明	73	にんにく、卵黄	下腹部痛	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070006	2007/01/31	2.女性 2.女性	68 68	はちみつ シャークリバーオイル(スクアレン)	18年2月ごろより両手、肘関節、両足、小指(左)に発疹。かゆみ 湿疹難治性	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/01/31	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070005	2007/01/29	1.男性	79	不明 キトサン 黒酢	足がひび割れてつけなくなった(痛み)。 糖尿の悪化かもしれません。	2.不明	1.その他	3.未回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
兵庫県	20070004	2007/01/29	1.男性	88	卵	19日朝連続して3回下痢し、覇気なく、食べれるが普段から少量。	4.医学的に推定	2.局所的症状	1.回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)
長崎県	20070003	2007/01/18	2.女性	70	ノニ(巴戟天・モリンダ)	肝機能障害 GOT42.GPT35.LDH246.ALP396, γ-GTP68	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/01/19	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070002	2007/01/16	2.女性	54	香酢		2.不明	1.その他	2.軽快	2007/01/17	通常審議情報	2007/01/31	レベル1(保存)
石川県	20070001	2007/01/10	2.女性	75	擬黒多刺蟻、山伏茸、山芋、サネブトナツメ、黒ゴマ、ショウガ	最近になり舌が荒れるようになった。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/01/11	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
岡山県	20060001	2006/11/23	2.女性	66	クロレラ	心原性脳塞栓症発症(左片麻痺、失語症)	5.医学的検証済み	4.重大な症状	5.後遺症	2006/11/24	緊急審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)